

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩新一

## 「憐れみ深いみ心によって」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

「これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって高い所から曙の光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの足を平和の道に導く。」

(ルカ1:78～79、聖書協会共同訳)

今年1月号の事務所だよりで、「いつの時代も少数派であることには変わりがないのかもしれませんが、宣教体制の立て直しという意識しなければならない時期になっています。一人一人が教会の牧会・宣教と運営を支える意識を持ち、イエスさまの価値観を共有できる仲間を増やすことをご一緒に模索していければと思います。」と記しました。

この頃はまだ、まさか教会に集うことができなくなるなんて想像もしていませんでした。特に3月に入ると会議も礼拝も集まることを躊躇し、7都府県に緊急事態宣言が出された4月～5月には多くの教会が公祷の休止を判断しました。オンラインでの礼拝や会議の方法を模索し、教会の中では一気にIT環境が整えられ、研修会も総会でさえもオンラインで行なえるようになってしまいました。しかし一方で、顔と顔を合わせて語り合い、食卓を囲んで笑い合うことが制限され、我慢の日々が続いています。何とかつながりを維持するために、みんなでいろいろなアイデアを絞り、工夫を凝らしています。

ピンチをチャンスにできる力が与えられていることを私たちは知っています。世界の多くの人々が恐れと迷いの中に置かれ、多くの命が召されている現実の中で、「神の憐れみ深いみ心によって、あけぼのの光が私たちに臨み、暗闇と死の陰にいる人を照らし、わたしたちの足を平和の道に導く」(日本聖公会祈祷書、ザカリアの賛歌より)とザカリアが歌ったように、暗闇に希望の光を灯すイエスさまのご降誕の喜びがすべての人々のうえにゆきわたりますように。

今年1年の様々なお恵みに感謝しつつ、2021年も皆様にとって、素晴らしい1年でありますようにお祈りいたします。

クリスマスおめでとうございます。



## 口会議・プログラム等予定

(2020年12月25日以降および  
前回未掲載分)

※現時点での予定です。  
延期や中止の可能性もあります。

### 12月

- 9日(水) 青年委員会 [Web]
- 28日(月) 常議員会 [Web]

### 1月

- 7日(木) 祈祷書改正委員会 [Web]
- 8日(金) 正義と平和・原発問題プロジェクト会議 [Web]
- 11日(月) 各教区青年担当者会 [Web]
- 11日(月) 青年委員会 [Web]
- 12日(火) 各教区正義と平和担当者の集い・公開学習会・正義と平和委員会 [Web]
- 14日(木) 人権問題担当者会 [Web]
- 18日(月) ウィリアムズ主教記念基金委員会 [立教+Web]
- 21日(木) 聖公会・ルーテル教会協議会小会議 [Web]
- 22日(金) 宣教協議会実行委員会 [Web]
- 28日(木) 正義と平和・沖縄プロジェクト会議 [Web]

### 2月

- 1日(月) 主事会議 [管区事務所]
- 4日(木) 法憲法規委員会 [Web]
- 8日(月)～10日(水) 定期主教会 [前橋]
- 19日(金) 年金委員会 [Web]
- 19日(金) 常議員会 [Web]

### <関係諸団体会議・他>

- 1月20日(水) NCC 役員会 [Web]
- 20日(水) 日キ連常任委員会 [Web]
- 25日(月) WCRP 日本委員会新春学習会

❖11/25(水) より当面、就業時間の短縮と隔日出勤(平日 月・水・金は10:00-16:30出勤、火・木は在宅勤務)。在宅勤務でもメールの送受信は可能です。

### 📌管区事務所年末年始休業

12/29(火)～1/5(火)まで冬季休業いたします。よろしくお祈りいたします。緊急の場合は総主事まで。

**□常議員会**

第65(定期)総会期第2回 2020年12月1日(火)

**<主な決議事項>**

- ① 大斎克己献金国内伝道強化プロジェクト奉献先に関して、主事会議からの提案を受け、東北教区「ヴァイアル山荘改築」計画および大阪教区大阪聖三一教会「地域小規模児童養護施設の建設プロジェクト」の2件について関係者からの説明を受け協議した。プロジェクトの具体的な内容が明確になるよう申請書を整え、再提出を依頼し、次回の常議員会において再検討することとした。
- ② 臨時総会の招集に関して、第66(臨時)総会を2021年3月6日に召集することを承認した(メール稟議の追認)。
- ③ 前首座主教退任感謝に関して、植松誠前首座主教の長年のお働きに対して感謝決議を行ない、感謝状の送付と慰労金の支出について承認した。
- ④ 2020年度収支予想および2021年度収支予想に関して、主事会からの提案通り補正予算は組まないことを承認した。
- ⑤ 2021年度管区事務所職員給与(定期昇給)に関して、承認した。
- ⑥ 2020年度余剰金に関して、教区からの分担金Iの1か月分を案分して還元することを承認した。また、総会の定めた主日信施の大幅な減少が予想されるため、特に資金としての支えがなく、その年々の信施が活動の支えとなっている3つのささげ先について、過去3年間の平均額に補填することを承認した。
- ⑦ 教役者給与タスクフォースに関して、前総会期に引き続き、高地敬主教、中林三平さん、赤坂有司さん、総主事、財政主事、総務主事に委嘱することを承認し、今後スタートする宣教協働委員会との連携が大切であることを確認した。
- ⑧ 正義と平和委員会各プロジェクトのメン

(前頁より)

27日(水) NCC 役員会・常議員会〔Web〕  
28日(木) ~ 29日(金) 外キ協全国協議会〔Web〕

2月3日(水) ACT ジャパンフォーラム運営委員会〔Web〕

バー、管区事務所各主査の人選、NCC 第41回総会代議員の人選に関して、総主事より報告を受け承認した。

次回会議 : 第65(定期)総会後第3回 2020年12月28日(月)、第4回 2021年2月19日(金)、第5回 4月13日(火)

**□主事会議**

第65(定期)総会期第1回 2020年11月30日(月)

**<主な報告・協議>**

1. 管区事務所主事会のもとにある各主査について、以下の通り承認した。  
宣教主査：司祭 木村直樹(北関東)  
渉外主査：八幡真也(東京)  
広報主査：麻田恭一(東京)、阪田隆一(横浜)、吉村登志子(横浜)  
財政主査：尾崎茂雄(横浜)、久保田秀雄(横浜)、中林三平(横浜)、山中 一(中部)、養田 博(北関東)
2. 第65(定期)総会の決議事項について、確認した。
3. 2020年度収支予想および2021年度収支予想について、財政主事より説明を受け、補正は行なわないと判断し、常議員会にはかることとした。
4. 2020年度余剰金について、各教区からの分担金の1か月分を按分して還元し、主日信施で支えられている働きに例年並みに補填するよう、常議員会に提案することとした。
5. 前首座主教退任感謝について、植松誠前首座主教への感謝決議を行ない、感謝状の送付と慰労金の支出を常議員会に提案することとした。
6. 大斎克己献金国内伝道強化プロジェクト奉献先について、東北教区「ヴァイアル山荘改

築」計画と大阪教区大阪聖三一教会「地域小規模児童養護施設の建設プロジェクト」の2件の申請を受け、申請内容の補充を条件に、常議員会へ提案し判断を委ねることとした。

次回会議:第65(定期)総会后第2回  
2021年2月1日(月)



†逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明  
と平安を祈ります。

司祭 ヨセフ高畠 靖(東京・退)  
12月2日(水)(93歳)

## 公 示

日本聖公会第66(臨時)総会を下記のように招集いたします。

救主降生 2020年11月27日  
日本聖公会総会議長  
主教 ルカ 武藤謙一 ㊞

記

日本聖公会第66(臨時)総会

日時: 2021年3月6日(土) 13時から16時まで

場所: 日本聖公会センター他(オンライン開催)

※ COVID-19 感染拡大防止のため

目的: 日本聖公会法規の一部を改正する件(「伝道教区制」に関わるもの)、  
日本聖公会北関東教区が「伝道教区」となる同  
教区会決議承認の件

以上



## 《人事》

### 東北

司祭 ヨハネ小野俊作	2020年10月31日付	大館聖パウロ教会における礼拝協力の任を解く。
主教 ヨハネ吉田雅人	2021年3月31日付	米沢聖ヨハネ教会管理牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	室根聖ナタナエル教会管理牧師に任命する。
司祭 ヨハネ八木正言	2021年3月31日付	郡山聖ペテロ聖パウロ教会管理牧師の任を解く。
司祭 ヤコブ林 国秀	2021年3月31日付	盛岡聖公会牧師、室根聖ナタナエル教会管理牧師、大館聖パウロ教会管理牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	郡山聖ペテロ聖パウロ教会牧師、小名浜聖テモテ教会管理牧師に任命する。
		若松諸聖徒教会協働を命じる。
司祭 ステパノ越山哲也	2021年3月31日付	八戸聖ルカ教会牧師の任を解く。
	2021年4月1日付	盛岡聖公会牧師、八戸聖ルカ教会管理牧師、大館聖パウロ教会管理牧師に任命する。
司祭 パウロ渡部 拓	2021年3月31日付	小名浜聖テモテ教会牧師、米沢聖ヨハネ教会協働の任を解く。
	2021年4月1日付	米沢聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。
		山形聖ペテロ教会協働を命じる。

司祭 ピリポ越山健蔵(退) 2021年4月1日付 司祭ヨハネ八木正言のもとで、仙台基督教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する。司祭ヨハネ八木正言のもとで磯山聖ヨハネ教会において礼拝協力を、また主教ヨハネ吉田雅人のもとで室根聖ナタナエル教会において礼拝協力を委嘱する。(任期1年)

司祭パウロ松本正俊(中部・退)

2021年4月1日付 司祭ヤコブ林国秀のもとで、小名浜聖テモテ教会において囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)

### 京都

<信徒奉事者認可> 2020年12月1日付(任期1年)  
(富山聖マリア教会) ピリポ廣瀬康夫

### 九州

司祭 マルコ柴本孝夫 2020年10月31日付 久留米聖公教会の管理牧師を解任する。  
2020年11月1日付 久留米聖公教会の副牧師に任命する。

### 《教会・施設》

厳原聖ヨハネ教会(九州) 電話およびFAXの使用停止。ご用のある方は中村正司祭の携帯090-6476-4391 まで。

### 《個人消息》

司祭クーパー・パメラ・A(大阪・退) 住所変更 Kingfisher Lodge Care Home,  
(Rev. Pamela Cooper) Chestnut Walk Saltford,  
Bristol, BS31 3BG U.K.

\* 管区事務所だより第359号に掲載されている「世界の聖公会の動向」のタイトルが間違っていました。以下のように訂正してお詫びいたします。

正)

☆ウェールズ教会が全ての教会員を対象とするセーフガード・コースを開始

☆移民問題に関するエキュメニカル・パートナーが欧州委員会に声明を送付、(ほか誤)

☆英国聖公会の大主教が、新型コロナウイルス第2波に向けて教会の役割を主張

☆コロンボ教区の新主教が任命される、(ほか)



日本聖公会東北教区 The Diocese of TOHOKU, Anglican-Episcopal Church in Japan

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 2-13-15  
2-13-15, Kokubun-cho, Aoba-ku, Sendai-shi, Miyagi, 980-0803, Japan  
TEL : 022-223-2349  
FAX : 022-223-2387

2020年12月25日

日本聖公会各教区  
教役者、信徒、  
関係諸施設・団体の皆様

日本聖公会東北教区  
教区主教 ヨハネ 吉田 雅人  
東日本大震災被災者支援プロジェクト  
リーダー 司祭 フランシス 長谷川清純

## 東日本大震災10周年を覚えて 同じ時に 想いを一つに 皆で祈りを

主の御名を賛美いたします。

東日本大震災が発生してから2021年3月11日をもって10周年を迎えます。

誰もが予想していなかった災害により多くのいのちが犠牲となり、また生活が一変してしまつた方もたくさんおられました。9年9ヵ月を経た今も、悲しみのうちにある方、困難を強いられている方が大勢おられます。これらの方々を覚え、「10年」という節目の重みを受け止め、これまでご支援・ご加祈いただいた皆様にお集まりいただき、ともに祈りを献げることができればと記念礼拝の計画を進めておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くの方々が一堂に会することは難しく、記念礼拝の規模縮小を余儀なくされました。

そこで、2021年3月11日（木）の礼拝は、昨年と同様に教区内複数の教会において礼拝をお献げし、3月13日（土）には、磯山聖ヨハネ教会礼拝堂跡地「祈りの庭」にて、記念の祈りをお献げすることとしました。例年遠方より足をお運びいただき、ともに祈りを献げてくださる方がいらっしゃることを大変嬉しく思っておりますが、本年におきましてはコロナ禍にあるためご理解の上ご遠慮くださいますようお願いいたします。なお、両日とも各教区へ式文の送付、礼拝のライブ配信を考えておりますので、それらを用いてともに祈りいただけましたら誠に幸いです。

式文、ライブ映像の配信先 URL は1月中を目処に東北教区ホームページ (<https://nsskk-tohoku.com>) にてご案内させていただきます。

それぞれに可能な仕方、この日、この時を心に留めて、大震災による犠牲者のため、今なお多くの困難の中にある方々のため、そしてさらにこれからの真の復興に向けての歩みのために祈りを共にすることが出来ればと願います。

主にあつて





## 首座主教会議



## 首座主教会議コミュニケ（2020年11月）

アングリカン・コミュニオン、41管区のうち37管区的首座主教および上級代表者による会議がオンラインで開催されました。2020年11月5日と6日の2回、合計5時間に及ぶビデオ会議通話でした。

初日は、世界的なパンデミックとその直接的・間接的な影響、とりわけ、コミュニオン各管区の社会的、経済的、健康的、情緒的状况に与える影響に焦点を当てました。

会議は、先日、召された元パプアニューギニア首座主教のアラン・ミギ大主教を覚えて、悲しみと感謝の祈りから始まりました。

私たちは、世界保健機関（WHO）のマイケル・ライアン博士とシルヴィ・ブリアン博士のプレゼンテーションを受け、大変感謝しています。ライアン博士はこのような記憶に残る発言をされました。「疫病とは、コミュニティの事柄である。コミュニティが伝染病を止めるのだ」。それゆえに、彼らは良い共同体の構築に尽力している宗教指導者たちと共に熱心に取り組むことを望んでいます。

ブリアン博士のプレゼンテーションは、パンデミックの状況とワクチンの進展、ウイルスの客観的な浸透状況と制御をめぐる課題についての見事な説明でした。彼女は"infodemic"、つまり、ウイルスとワクチンについての不確かな情報が大量に拡散されてしまう現象の疫学についてとりわけ明確に語りました。首座主教たちは、WHOと協力して、良質で正確な健康情報を提供するための努力をこれまで以上に強めることを決意しました。

約45分に及んだ質問に対しても、ブリアン博士は明晰性と謙虚さをもって答えてくださり、聞いた者すべてが心から感謝しました。首座主教会議は、世界のために奉仕してくださっているWHOに深い謝意を、彼女を通して表明しました。各管区内で、またグローバルの双方で、互いに協働する機会があることは明白です。首座主教たちは、ワクチンを開発している国の政府に対し、WHOと緊密に協力して、富裕層ではなく、最も弱い立場にある人たちに、公正かつ公平な配分を確保するよう、訴えます。

WHOの発表と質問の後、世界各地のパンデミックの影響について、各首座主教から地域別の報告を受けました。驚くべきことに、世界のさまざま異なる場所で、強い類似性が見られました。健康面以外に、最も重要な関心事は、雇用の喪失、飢餓、教育の喪失に代表される経済的影響と、将来への見通しについてでした。家庭内暴力は、世界のあらゆる地域を悩ませている隠れた流行病です。

各地の報告はまた、諸教会がこの課題に立ち向かっていることをも示すものでした。キリストの召しに従う中で、彼らは善き羊飼いであり、安定性、教育、愛と希望を失った人々をどこまでも探し求めるのです。そこに、私たちは聖霊の働きと、神の国のしるしを見て、喜びました。しかし、まだまだ多くのことが必要とされています。多くの国では、新型コロナウイルス感染症は、多くの疫病の内の一つに過ぎません。その疫病には、紛争、残虐、汚職、環境破壊、自然災害などが含まれます。私たちは、言葉と行いにおいて、イエス・キリストの福音を宣べ伝えるという召命を実際に生きることを決意しました。

2日目は、アングリカン・コミュニオン内の諸問題に焦点を当てました。

アングリカン・コミュニオン・セーフチャーチ委員会の、ガス・ブレイク委員長から発表を受けました。彼は、私たちの教会を安全なものにする責任があることを思い起こさせてくれました。特に子どもたち、若者たち、弱い立場にある大人たちの安全です。私たちは、アングリカン・コミュニオン・セーフチャーチ憲章と、前回の首座主教会議と ACC で採択された諸声明に参与することを確認しました。

ヨーク大主教スティーブン・コットレル博士とウェールズ聖公会ジョン・デイヴィス大主教は、子どもに対する性的虐待についての英国の独立調査(IICSA)報告を発表しました。それは、英国教会とウェールズ聖公会による過ちについて、最近、出版された報告に記載されています。

世界中の多くの首座主教が、セーフガードにおける自分たちの経験を語りました。ある人は、IICSA の報告書を「私たち全員を映す鏡」と表現しました。虐待者は、世界中の教会の目に見えないところに隠れていることがあります。私たちは、教会の指導者たちが、虐待の疑惑を適切に調査し、報告することを妨げる傾向があるのを認めます。

私たちは、被害者と生き残った者に与えた傷と損害を悔い改め、このようなことが将来的に起こるのを防ぐことができるような文化を作ることを約束します。

オックスフォード主教、スティーブン・クロフト主教に参加していただき、新たに ACC で設置が承認された、アングリカン・コミュニオン科学委員会についての説明を受けました。私たちは、委員会の設立を喜ぶと共に、科学と信仰の接点をめぐっての働き、とりわけ、健康、農業、気候変動の諸課題についての成果を期待しています。

ヨーク大主教のスティーブン・コットレル博士は、11月9日(月)に英国教会から出版される、『愛と信仰に生きる』について説明してくださいました。この教材が、英国教会とその教会員が、聖書の文脈の中でのアイデンティティ、セクシュアリティ、人間関係、結婚についての諸問題を議論するのに役立つように設計されたことは特筆されるべきです。

1月にヨルダンで開催された首座主教会議で、私たちは、アングリカン・コミュニオンの第41番目の新管区として、アレクサンドリア管区の形成を確認しました。この会議には、初代アレクサンドリア管区大主教として、ムニエール・アニス大主教が参加くださいました。

私たちは、アレクサンドリア管区の形成を喜び、そして、ムニエール大主教と新管区の指導者たちが、エジプト政府からの承認を得るために努力なさることを、全面的に支持します。最近出された、アフリカ大陸の首座主教たちからエジプト政府に対して出された書簡を支持し、その中で、エジプト政府が、アレクサンドリア管区を、独立した聖公会管区として承認することを求められたことを歓迎します。

パンデミックは、私たちの組織体が、対面式の会議を行うことを妨げています。予定されていた多くの会議が中止、再設定、もしくは延期となってしまいました。そのうちの 하나가、聖公会の主教たちの、2020年「ランベス会議」であり、それは、2022年に開催されることになりました。

カンタベリー大主教は、ランベス会議に向けての新たなビジョンを語られました。ランベス会議は2022年に開催されますが、その前後には、キリストの体全体としての感覚を構築するための集まりがオンラインで持たれます。

私たちは、18ヶ月間におよぶプレ・ランベス会議としての、「ヴァーチャル・アングリカン・コンGRESS」の計画を歓迎します。そこでは、主教とそのパートナー、青年・成年、信徒・聖職者が、顔と顔を合わせて出会い、コミュニオンすべての者たちが、神の世界における神の教会となるために共に働くこと段階が実現することを願うものです。アングリカン・コミュニオンの4つの器の一つでもある、ランベス会議それ自体が、主教たちの顔と顔を合わせた交わりになります。

この枠組みの中で、私たちは、次回のACCが、2023年初頭に ガーナのアクラで開催されることを確認しました。首座主教たちは、2021年11月にオンラインで再会し、2022年3月には、イタリアのローマで対面式の会合を開催します。

私たちは、ACC常置委員会が、アングリカン・コミュニオン・オフィスの運営上の優先事項の見直しを行い、ケープタウン大主教、タボ・マクゴバ議長の独立したレビュー・グループが準備された報告書を、引き続き検討していきます。

「光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった」(ヨハネ1:5)。分かち合う中で、私たちは、キリストの光の強さを何にもまして心に留めることになりました。不正義、貧困、病、残虐な行為、戦争、腐敗、その他さまざまな事柄とのこの世における闘いは、キリストが照らし出される光を通して見つめられなければなりません。教会暦における神の国のこの時にあって、私たちは、天に昇られた主イエスの権威と、キリストの教会のための主の愛と執り成しと、そして、悪を打ち倒すキリストの確かなる勝利を喜ぶのです。神の民が、自らの重荷と必要なるものすべてを神に委ねると共に、神に感謝と喜び、祝福をおさげすることを、勧めるものです。

## 新型コロナウイルス（COVID-19）に関連する 各教区の対応

### 北海道教区 礼拝（公禱）の休止なし

- 教会での礼拝は主日・週日いずれも定時にない、誰でも参加可能。
- 礼拝に関して不安や恐れがある信徒は自宅で礼拝を守ってもよい。
- 主教巡回を再開する。

### 東北教区 礼拝（公禱）の再開

- 主日礼拝等については、6/7より再開。
- 葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

### 北関東教区 礼拝（公禱）の再開

- 教区内各教会は、6/7より礼拝を再開。ただし地域社会や教会共同体の状況を考慮・協議し必要な策を講じる。

### 東京教区 礼拝（公禱）は再開または再休止中

- 礼拝について、感染防止の対策の上、それぞれの教会・礼拝堂の状況（立地、ニーズ、信徒の動静・配置等）によって工夫し、公開での礼拝を実施あるいは再休止している。
- インターネットにより礼拝等の配信をおこなっている教会がある。

### 横浜教区 礼拝（公禱）の公開を再開

- 5/25 付の礼拝指針（改訂版）」の再確認と徹底
- 6月から感染防止対策をした上で主日礼拝を再開。
- 在籍外の教会、またへ教区を越えての礼拝出席は控える。
- 東京都に隣接する神奈川県および千葉県北西部地域に在住で健康に不安のある人は、公共交通機関を利用しての来教を控える。
- ウイルス感染再拡大への対応として、それぞれの教会（または地域）の感染状況により、各教会で礼拝再休止の判断をする。

### 中部教区 礼拝（公禱）の再開または再休止

- 6/1以降の主日及び週日の礼拝再開時期は

『礼拝再開に関するガイドライン』に基づき各教会で判断。

- 感染拡大状況により各教会で再休止について判断。

### 京都教区 礼拝（公禱）の休止なし

- 各教会で判断。主日礼拝はほぼすべての教会で再開。

### 大阪教区 礼拝（公禱）の再開

- 主日礼拝（聖餐式・みことばの礼拝）を中心に再開。
- 例年のように多くの方々に、自由にクリスマス礼拝に参加して頂くことは難しい。
- 「クリスマス祝会・愛餐会」は原則として自粛。

### 神戸教区 礼拝（公禱）の再開

- 教区内の教会・伝道所は聖餐式（一種陪餐または前部、みことばの礼拝を含む）を行なっている。

### 九州教区 礼拝（公禱）の再開

- 無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない（体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など）。

### 沖縄教区 礼拝（公禱）の再開

- 礼拝の実施については、それぞれの教会の状況によって判断する。

### 管区事務所

- 11/25よりしばらくの間、就業時間の短縮と隔日出勤（平日 月・水・金は10:00-16:30で出勤、火・木は在宅勤務）。
- 在宅勤務でもメールの送受信は可能。緊急の場合は管区事務所総主事の司祭 矢萩新一まで。

(12月4日現在)



# Merry Christmas and A Happy New Year

日本聖公管区事務所一同

主教 ルカ 武藤 謙一

Hiroko Suzuki

鈴木 一

Jesse

矢萩 新一<sup>+</sup>

了十 金子 登美江

大岡 基

Ceilia

及川 史子

Paul Tolhurst

子

卓志 雄

鳥居 雅志



日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。